

団体名	公益財団法人 茨城県国際交流協会						
事業名	茨城県留学生親善大使の活躍による国際交流等の促進、コロナに負けるな！留学生と地域住民とのオンライン日本語対話交流支援						
実施期間	令和3年5月～令和4年1月						
場 所	茨城県内小中高高等学校、特別支援学校、および生涯学習関連施設等						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	118	185		3589	44		3936名

<実施内容>

【国際理解教育講師等派遣事業(ワールドキャラバン)】

県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、県内の小中高高等学校、特別支援学校及び生涯学習関連団体の実施する授業や国際理解講座の講師として派遣しました。申請団体の希望によってはオンラインでの遠隔授業も実施しました。母国紹介講義、交流活動等を通じて、留学生が児童・生徒、地域住民らとふれあい、日本と母国それぞれの文化の理解を深めることができました。

【クエスト茨城留学生研修】

県内の留学生が、茨城県への理解を深め親しみを持つことを目的に、県内企業・施設等を巡るバスツアーに参加しました。7月に陶芸体験と神社訪問、11月に外国人も活躍する先端技術企業訪問と筑波山登山、により思い出を作りました。

【茨城の留学生と地域住民のやさしい日本語でオンライン交流会】

県内の大学等で学ぶ留学生が、県内在住の一般の日本人とオンラインで日本語によるコミュニケーションを行いました。日本語能力は簡単な会話ができれば参加可能としました。交流は留学生ひとりに対し日本人2～3名程度のグループで、Zoomのブレイクアウトにより行い、大変盛り上がりました。

<記録写真>



茨城県留学生親善大使任命式を、2年ぶりに対面で実施



小学校でダンスを披露する、スリランカの留学生



中学生に母国紹介をする、中国の留学生

<参加者からのコメント>

ガスパリヤン ゲオルギさん(ロシア)/Gasparian Georgii グエン ティ ミー ニャンさん(ベトナム)/Nguyen Thi My Nhan

小学校の生徒達は歓迎してくれて、私達ワールドキャラバン講師が発表した自分の国に対して皆さんは興味を持つようになってくれました。当校の皆さんは社会的で、好奇心が強く、色々なテーマについて質問を聞いてもらいました。また、小学生達に自分自身の国のことがシェアできて、嬉しく思います。特に、「ネズミ」というロシアの伝統的な子供の遊びを教えたら、皆さんに遊んだり、笑ったりしてもらって、喜んでいました。

生徒の異文化理解、発展途上国への理解を深めると共に国際貢献の重要性を知ることを目的として、ベトナムのことやベトナムと日本の違う点、留学生の私の留学生活などを紹介することができて、とても嬉しかったです。このような活動のおかげで、私の異文化受容度を高めることもできました。そして、高校生たちは最初から最後まで積極的に授業に参加していただいて、とても楽しかったです。また、学校の教頭、先生方、事務員、生徒たちも色々準備し、温かく迎え、送っていただき、心から感謝いたします。チャンスがあればぜひ積極的にワールドキャラバンや国際文化交流活動に参加したいです。